

## 事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年6月2日

1 事業名	市営岡谷球場管理事業			コード	113405	
2 担当部課	部等	教育委員会	課等	スポーツ振興課	作成者	伊藤 雅章
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政策	文化・スポーツの振興	施策	スポーツの振興	
		予算科目	スポーツ施設管理事業費	業務委託	全部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市スポーツ施設条例			

## ●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要 （簡潔に）	野球1面・ソフトボール2面		
目的	対象者	市民等施設利用者	
	意図	市営球場利用者が、安全・快適に利用できるよう、指定管理者を指定し施設の適正な管理運営を行う。	

5 施設の管理運営状況			
指定管理者	シンコースポーツ株式会社	25年度指定管理料	5,330,700 円
施設における 通常業務	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料等の徴収		
事業の実施内容	<p>（25年度に施設で行った運営事業・自主事業など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○業務内容 清掃、環境衛生管理、建築物・建築設備保守点検、備品等維持管理、警備、応急措置、大会等準備、駐車場運営等</li> <li>○自主事業等 防球ネットの増設 観覧席落下防止ネットの設置</li> </ul>		
前年度の課題 への対応	首都圏の中学・高校のソフトボール・軟式野球のスポーツ合宿の誘致を行った。		

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	28.3%	25.7%	19.9%	
年間開設日数（日）	248	253	250	251
1日の開設時間（時間）	16.5	16.5	16.5	16.5
年間利用可能時間（時間）	4,092	4,175	4,125	4,142
年間利用実績（時間）	1,160	1,072	819	
② 年間利用者数（人）	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	271	240	169	169
有料利用件数	197	152	100	100
無料利用件数	48	26	16	16
減免措置件数	26	62	53	53
④ 1日あたり利用者数、件数	1.1	0.9	0.7	0.7
⑤ 施設利用状況の説明				

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	4,920,124	5,191,807	10,618,988	5,596,400
経常経費	4,920,124	5,013,307	5,347,988	5,596,400
臨時的経費	0	178,500	5,271,000	0
* 臨時的経費の説明	球場災害復旧工事のため			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	160,000	160,000	160,000	160,000
正規職員の人数(人)	0.02	0.02	0.02	0.02
③ 合計コスト(①+②)	5,080,124	5,351,807	10,778,988	5,756,400
前年度比		105.3%	201.4%	53.4%
財源				
一般財源	3,494,110	3,838,121	4,282,366	4,057,400
内訳				
特定財源	1,586,014	1,513,686	6,496,622	1,699,000
* 特定財源の説明	施設使用料、財産使用料、財産管理収入、私用電気料、市債			
④ 施設使用料年間収入額	1,281,110	1,217,080	1,068,000	1,346,000
⑤ 年間減免措置額	507,000	501,900	380,400	380,400
⑥ 受益者負担割合	36.3%	33.1%	13.6%	30.8%
⑦ 活動一単位あたりコスト	18,746	21,555	32,592	
前年度比		115.0%	151.2%	
⑧ コストに関する補足説明				

## ●事業の評価 (CHECK)

### 8 妥当性評価

\* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

### 9 有効性評価

\* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数	前年度比 71.3%
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額	前年度比 87.8%

## ●改善の内容 (ACTION)

### 10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	利用者層は社会人が中心であるため、平日昼間の施設稼働率が低い。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	市の観光協会担当者と旅行会社の協力により、首都圏の学生をターゲットにスポーツ合宿の誘致を引き続き行っていく。	
改善開始時期	平成26年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	円	予定時期	
内容			